

令和5年度

事業報告書

学校法人 宝仙学園

令和5年度事業報告書

1. 令和5年度の事業概要

令和5年度は中期経営計画（令和5年度～令和7年度）のスタートとなる年であり、計画に掲げた経営目標の達成に向けて、各部門が果敢に施策に取り組み、着実に成果を収めるべき重要な1年であったと言えます。また、5年後に迎える学園創立100周年という視点からも、新たな時代の潮流を見据え、各部門の積極的な事業展開によって、学園長期ビジョンである「感応の心を大切に、共に学び、高め合う、理想の学び舎の創造」実現への歩みを確かなものとする位置付けの1年でもありました。

中期経営計画に基づく令和5年度事業計画の重点目標は、ここ数年据え置いている「財務基盤の強化」です。来たる創立100周年記念事業の柱となる新校舎建設の資金需要に応えるとともに、学園の持続的な発展に欠かすことのできない命題です。「財務基盤の強化」の根幹をなすのが学則定員の安定的充足であり、各部門はそれぞれの入口戦略に基づいた独自の学生生徒募集活動を展開しました。学園全体として、園児・児童・生徒・学生数の合計は2,535名、全体の学則定員充足率は111%となりました。その結果、学生生徒納付金等の安定的な収入によって、経営成績の指標となる基本金組入前事業活動収支差額は3億93百万円を計上し、収支差額比率は12.8%となりました。中期経営計画の目標とした数字をいずれも上回ることができました。

二つめの経営目標は「環境変化への対応」です。学園を取り巻く環境の変化はますます広範囲にわたり、そのスピードも加速化しています。こうした変化に迅速かつ計画的に取り組んでいくことが求められています。具体的な環境変化には、少子化の進行、グローバル化の進展、情報通信技術の進化、学校法人の制度改革、働き方改革の進歩等があげられ、これらに対応するため、独自の教育プログラムの開発、高大連携の促進、海外留学制度の充実、ITを活用した業務効率化の促進、ガバナンス体制の強化、労働法令改正への的確な対応等に取り組み、一定の成果をあげることができました。

次に教学上の戦略の目標である「教育特色の進化と新たな特色創造」については、新校舎建設コンセプトの一つである「部門間連携の進化」に向けて、小学校と中学高等学校の代表の教職員によるワークショップを実施するなど、意欲的かつ建設的な意見交換や提案がなされています。また、「環境変化への対応」でも触れましたが、各部門において新しい教育プログラムの開発や留学制度の充実、外部との高大連携の推進等、新たな進展が見られました。

最後に「人材戦略」の取り組みです。教育機関の最も重要な資源は人材であり、各部門は「人材戦略」を目標に据えて施策を展開しました。優秀な人材の採用、教員研修の充実、教育研究活動の推進、ベテラン教員による若手の育成等に取り組みました。これらの成果は短期間で現れるものではありませんが、教育スキルの向上、独自の教育プログラムの開発、教員組織力の強化に寄与するものと確信しています。また、継続して「IT・デジタル人材の育成」「中間管理職のマネジメント力の向上」をめざし、研修制度の充実化を図っていきます。令和4年度に導入した成果主義に基づく新人事評価制度は2年目となり、当制度の趣旨の理解が進み、定着化してきました。一人ひとりが仕事にやりがいを持ち、明るく働き甲斐のある職場環境の整備・維持に今後も努めていきます。

令和5年度はコロナ禍の収束に伴い、教育活動もほぼ平常化し、園児・児童・生徒・学生たちの学校生活も従来にも増して生き生きとしてきました。このように活気の戻った学園の令和5年度の実業活動

は概ね事業計画どおりに推進し、経営目標をほぼ達成することができた実りある一年となりました。

以下、部門別に見た令和5年度の事業概要を記します。

こども教育宝仙大学は、大学としてのMission、Vision、Valueを策定し、Visionとして定めた「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」「90年の信頼『保育の宝仙』を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」を、具体化して推進する「こども教育HOSEN WAY」プロジェクトを企画し全教職員で取り組んでいます。令和5年度は第2期「こども教育HOSEN WAY II」（令和3年度～令和5年度）を仕上げ、第3期の21プロジェクトを決定しました。引き続き大学改革と内部質保証に向けた取組として推進します。

教学面では「存在感あふれる保育単科大学を作り上げる」を目標に、本年度は学生の多様な学びのニーズに応えるため、令和7年度入学生から適用するカリキュラムを改定し、「保育コース」「保育留学コース」「こども心理コース」の3コース制導入を決定しました。同時に取得可能な資格の増設、学年配当科目の平準化も決定しました。保育留学の第1期生は、5名全員がオーストラリアの保育者資格Certificate IIIを取得し帰国しました。18歳成人化を受けて導入した「成人基礎力」の教育については、引き続き1・2年生を対象に実施しました。

実習には、延べ366名の学生を派遣しました。本年度末卒業生の免許・資格取得率は、幼稚園教諭一種免許状82.6%、保育士資格91.7%、免許・資格両方取得者81.7%でした。また保育に関する課題を学外の方も含め議論する「HOSEN 保育フォーラム」（2回）、実習園の実務担当者を主体とした「実習担当者会」（1回）を開催し、幼稚園、保育所等との産学連携、関係強化に取り組みました。

卒業生は110名と過去最多であり、卒業生数に占める就職者率88.2%、希望者就職率は100%で、そのうち保育職就職者も87名と、保育者養成校としての一定の役割を果たせました。なお就職者の22.7%が公務員等に就職しました。

学生募集では、厳しさを増す募集環境の中、全教職員で学生募集に注力しました。大学全入時代となり小規模校を中心に半数以上の大学が定員割れする中、18歳人口の更なる減少、保育離れなどもあり、新入学者86名、編入学者1名と、入学定員の充足に至りませんでした。

学園内の取組では、宝仙学園幼稚園との幼大連携（体験学習、教育実習など）、宝仙学園高等学校女子部こども教育コース（出張授業、探究学習支援、大学ゼミナール体験など）との高大接続を図り、100年ブランド「保育の宝仙」の確立に取り組みました。

社会貢献・地域連携の推進では、こども教育研究センターが中心となり、地域子育て支援室「ぷちとまと」「HOSEN こどもフェスティバル2023」、「中野区とこども教育宝仙大学との相互協力に関する基本協定」に基づいた「保護者支援プログラム」開催、中野区保育実務研修への講師派遣等の活動を継続しました。

中学校・高等学校共学部「理数インター」は、今年度で12回目の卒業生を送り出しました。共学部過去最多の卒業生となっただけでなく、「自己ベストの更新」のスローガンのもと、教員の支援を受け、大きな成果をあげたと思います。特に今年度は、2名の現役東大合格生を含め、早慶を始めとする私立最上位校の合格者数は3割弱、GMARCHに至っては過去最多の9割を超える合格者数を出しました。

また、新入生は、中学校253名、高等学校209名となり、中高で1,369名に達しました。

女子部「こども教育コース」は、学園の伝統文化である保育文化を担っています。生徒数は79名ですが、ダンス部は全校大会の常連校で、イギリスで行われる世界大会の出場権も獲得しました。今後もそれぞれのよさを生かしつつ、本校独自の個性を発展させていきたいと考えています。

小学校は、令和5年度コロナ対策の制限もはずれ、できることはできるだけ実施することを目指し、教育活動に取り組んできた。行事や集会活動でもほとんど対面での活動を実施することができ、子どもたちの笑顔も広がり、保護者からの支持と信頼を高めることができた。開校71年目、80周年に向けて、順調なスタートを切ることができた。

建学の精神「品格と知性を兼ね備えた人を造る」のもと、豊かな人間性と確かな学力を育むことを目標に据え、教育活動に取り組んでいる。仏教の精神に基づいた道徳の授業の推進を図り、他者を思いやる心を育てることができた。また、学力の育成では、よりよい授業を目指して、授業力の向上と改善を図り、研修・研究活動を充実させた。11月と2月に研究発表会を実施し、外部からも参観者を迎え、教員の大切な学びの機会となり資質の向上につながっている。

入口戦略・出口戦略とも概ね良好な結果であった。入口では、さらに第一希望者を増やし安定している。ただし、一般受験の受験者は減らしている。その点についてはその要因を確認し、広報活動の見直しを行っていく。また、新たな特色ある教育活動である探究学習や英語活動などを着実に推進していく。出口では、今年度も個々の希望する進路を実現することができた。宝仙学園の100周年に向けて、幼小中高大の連携をさらに強めていくことが求められている。昨年度は、教員の交流などを中心に、幼稚園や中高との連携を着実に進めてきた。

幼稚園では、「遊びの中の学び」を大切に考えていくと共に、人として「感応の心」を育てることの大切さも、保育の場で教員が常に意識し、様々な体験・経験を通し、各学年での子どもの育ちを生み出していきました。一人ひとりの育ちを把握、確認し、進級のたびに子ども一人ひとりの今までの育ちを生かす保育を展開することを十分に意識しながら、教員間の連携も深めていきました。

進学(受験)に強い幼稚園として幼児教室(理英会)と連携し、日々の保育の重要性を考えながら指導の充実を図り、保護者の満足度を上げる努力をしました。

保護者には、今年度も教育計画を配布し、教育懇談会や個人面談の随時実施等、本園の教育の理解を深めていただくための努力をしました。また、家庭教育(保護者支援)も重要であることから、園児指導と共に母親教育にも力を注ぎました。園行事すべてをコロナ以前の状況に戻したことから、保護者の信頼を獲得することができました。公開行事、説明会等「良質な教育」をアピールすると共に、コンサルティング会社(GCLIP)からのアドバイスを受けながら園児募集強化の対策を講じました。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える大いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育であります。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月 感応幼稚園設置認可

昭和 3年 1月 中野高等女学校設立認可

昭和 10年 3月 仏教保育協会保姆養成所設置認可

昭和 14年 6月 仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更

昭和 19年 1月	中野保母養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)
平成 19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成 20年 10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成 21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
平成 21年 4月	宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
平成 22年 4月	宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (令和5年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制(普通科)
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和5年5月1日現在)

学校名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R6.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	406	373
宝仙学園高等学校	245	735	752	767
宝仙学園中学校	135	405	695	702
宝仙学園小学校	70	420	451	454
宝仙学園幼稚園	—	315	231	205

(5) 役員概要 (令和5年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
理事	7~10人	10人	常勤-8人 非常勤-2人
監事	2人	2人	非常勤-2人

(6) 評議員の概要 (令和5年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	21	常勤－12人 非常勤－9人

(7) 教職員の概要 (令和5年5月1日現在)

区分	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本部	合計	
教員	本務	19	44	46	26	16	0	151
	兼務	17	27	20	0	4	0	68
職員	本務	16	8	3	2	4	7	40
	兼務	5	5	3	2	4	1	20

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。
会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・令和5年度開催回数6回

<主な議案>

- ・役員、評議員の改選
- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算
- ・令和5年度収支補正予算
- ・令和5年度事業計画
- ・令和5年度寄付金品の募集
- ・令和6年度寄付金品の募集
- ・令和6年度経営計画・収支予算計画
- ・学園規則類の制定・改廃
- ・校舎建替え（創立100周年事業）の基本計画策定
- ・校舎建替え第一期工事に係る設計管理業者の選定
- ・学校法人順天堂との「系属校に係る協定書」の締結について
- ・学内理事報酬の改定について

(2) 評議員会開催の状況・・・令和5年度開催回数5回

<主な議案>

- ・監事、理事の改選
- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算
- ・令和5年度収支補正予算
- ・令和5年度寄付金品の募集
- ・令和6年度寄付金品の募集
- ・令和5年度事業計画
- ・令和6年度経営計画・収支予算計画
- ・学内理事報酬の改定について

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会6回、評議員会5回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）

(4) 法定監査の状況・・・令和5年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 令和5年度の主な教育活動

<大 学>

- ・2023年度入学式（R5.4/2）
- ・宝仙学園幼稚園での体験学習（R5.6/5・6、11/20・21・24）
- ・教育実習（実習期間 R5.5/29～6/23）
- ・保育実習Ⅰ（施設）（実習期間 R5.6/26～7/11、7/31～9/14）
- ・地域文化体験（利賀村研修）（R5.9/7～11）
- ・HOSEN こどもフェスティバル 2023（宝仙祭と共催）（R5.10/21・22）
- ・保育実習Ⅱ・Ⅲ（保育所・施設）（実習期間 R5.11/20～12/4）
- ・大学入学共通テスト 東京女子大学と共同実施（R6.1/13・14）
- ・保育実習Ⅰ（保育所）（実習期間 R6.1/30～3/1）
- ・オーストラリア保育留学（R6.2/17～R6.12）
- ・国外保育体験（オーストラリア短期留学）（R6.2/17～3/3）
- ・卒業研究発表会（R6.3/4）
- ・第12回学位記授与式挙（R6.3/19）
- ・子育て広場「ぶちとまと」開催（R5.4/28、5/12・26、6/9・23・30、7/7・14・21、9/21・28、10/5・12・26、11/9・30、12/7・21、R6.1/11・18、2/1・15、3/7）
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催（R5.6/10、R6.1/30）
- ・「HOSEN 保育フォーラム」開催（R5.7/15、12/16）
- ・女子部こども教育コース高大接続（出張授業7回、探究学習支援3回、大学ゼミナール体験等を実施）
- ・「実習担当者会」開催（R6.3/2）

<中学校・高等学校>

（共学部）

- ・入学式（4/5）
- ・高3春合宿／茨城県つくば市（4/8～11）
- ・共学部高校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ（5/12）
- ・高2アメリカ研修旅行（6/6～12、6/8～14）
- ・高1関西研修旅行（長谷寺研修・墓参）（6/7～9）
- ・高2国内代替プログラム（Global Youth Program）／三浦半島（6/12～14）
- ・中学校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ（6/14）
- ・中学芸術鑑賞会 / ルネ小平（6/23）
- ・高2・3 芸術鑑賞会 / 赤坂シアター（7/18）

- ・中1 林間学校／水上高原(7/19～21)
- ・英国イングランド研修(7/20～8/1)
- ・マルタ語学研修(7/21～8/6)
- ・ニュージーランド語学研修(7/29～8/11)
- ・中学夏期講習(8/26, 28, 29)
- ・宝仙祭(中・高)(10/21, 22)
- ・中2長崎研修旅行(11/2～4)
- ・中学グローバル・ALコース英語プレゼンテーションコンテスト(11/11)
- ・中3アジア研修旅行(11/12～16)
- ・中1 十三詣り(11/18)
- ・中1 ネイチャープログラム／江の島・鎌倉(11/22)
- ・中学冬期講習(12/21～23)
- ・高校冬期講習(12/21～23, 25, 26)
- ・高校冬期講習(12/22, 24, 26, 27, 1/4～6)
- ・中学合唱祭／中野ゼロホール(1/12)
- ・中3卒業プレゼンテーション(1/27)
- ・高校英語プレゼンテーション(1/27)
- ・中2職場体験(2/1, 2, 4, 10, 12)
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト(2/17)
- ・高校卒業証書授与式(3/14)
- ・高校1年探究発表(3/15)
- ・中学校卒業証書授与式(3/21)
- ・順天堂大学医学部キャンパスツアー(3/26)

(女子部)

- ・入学式(対面)(4/5)
- ・女子部 Welcome Camp / 高尾(4/17～18)
- ・体育祭(5/27)
- ・高I宝仙学園幼稚園見学実習(6/1)
- ・高II幼稚園実習(6/8)
- ・高III幼稚園実習(6/9)
- ・高II幼稚園実習(6/28)
- ・夏期講習I期(7/20, 21, 24, 25)
- ・大学ゼミ体験(夏期講習II期)(8/28)
- ・夏期講習II期(8/29)
- ・宝仙祭(10/21, 22)
- ・高II保育園実習(11/2)
- ・Hosen Art Festival VOL.3/ 牛込笹筒区民ホール(11/13)
- ・冬期講習(12/21, 22)
- ・芸術鑑賞会 / 舞浜(1/18)
- ・高III卒業プレゼン(1/27)

- ・音楽祭 (3/1)
- ・卒業証書授与式<中学校・高等学校> (3/3)

<小学校>

<学習活動等>

- ・子どもたちが活躍し自己の成長を実感できる、教育活動に取り組んできた。
- ・学校・仏教行事、宿泊行事等、その他の諸活動もすべて行いさらに内容を充実させてきた。
- ・「みつめる きめる つむぐ 自他の意志を尊重する子どもたちの育成」を研究テーマに、公開授業研究発表会を2回実施した。
- ・年間講師に、梶浦真氏、平井聡一郎氏を招聘し、指導力向上のための研修会を実施した。
- ・児童の個別支援教育に対して、講師を招聘し研修を深めると共に次年度の計画を立てた。
- ・ICT教育推進の取組みは、教育活動の柱の一つとして定着し、さらに推進をしている。
- ・外部業者とも連携し、広報担当、入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた広報活動の充実と改善に取り組む。
- ・宝仙小の未来設計の柱として「アドミッション・カリキュラム・ディプロマ」の3つのポリシーの周知と定着を図っている。
- ・保護者や外部の人材を活用し、学校のハブ化を進め、子どもたちの学びを深めている。
- ・本年度も保護者対象のICT研修会や体験会を実施し、情報モラルや情報リテラシーについて学ぶ場を設定した。
- ・本校の新しい特色ある教育活動として、探究学習と英語の取組みを進めている。探究では保護者や外部の人材を活用して、学びを深めた。探求学習として、6年の卒業研究と3年のサイエンスフェスタを重点活動として取組んだ。
- ・英語では、英検Jrを導入するとともに、1月には、英検の準会場として試験を実施し、英検への意識を高めた。
- ・卒業時に目指すべき児童の姿を示す「ディプロマポリシー」を具現化する、資質・能力を「コンピテンシー10」として明確にし、教育活動の柱として取り組んだ。
- ・課外クラブを再開した。サッカー、音楽、演劇、プロジェクションマッピング、朝ランクラブが活動した。対外試合や発表会に参加するクラブもあり、活躍の場を広げた。

<行事について>

(4月から3月までの期間) 各学年で進級遠足、体験的校外学習、社会科見学等は、各学年3回実施

(4月・6月・10月・2月) 各学年別に父母会と授業参観の実施

(6月15日～17日) 6年生修学旅行は、2泊3日で長崎方面、研修学習を実施

(7月17日～22日) 5年千葉県鴨川夏季学校、3・4年那須高原夏季学校、2年西湖夏季学校を2泊3日で実施した。

(7月27日～29日) 長崎佐世保ホームステイ・イングリッシュキャンプ (20名参加)

(8月28日) プロジェクションマッピング実施

(10月4日) 運動会 (武蔵野の森スポーツセンター)

(10月21・22日) 宝仙祭、2日間、学年発表会と作品展を全校規模で実施

(11月25日) ロイロ公開授業研究会開催

- (12月15日) けん玉大会
- (3月1日) 6年生を送る会 (全校で)
- (3月1日) 卒業研究発表会は、保護者も見学し、5年生も参加して実施
- (3月13日) 卒業式は通常の形式で実施、5年生も参加、保護者も制限なし
- (3月18～21日) 奥志賀高原スキー教室 (70名参加)

・その他

- (4月26日) 父母会総会 (宝仙祭) 光葉会、卒業生が出店
- (7月2日) 宝友会総会・懇親会

<幼稚園>

- ・ 戸外遊びの充実/年齢に応じた戸外あそびの工夫
- ・ 英語教育/全学年ともに原則週1回
- ・ リトミック活動/全学年ともに原則月1回
- ・ 本学園小学校との連携教育活動/理科実験教室 (3回)
- ・ 園内研修の充実/年間テーマ「教育計画2017」の改定 (計画2年目)
- 4月21日: 就学前後期の検討
- 5月19日: 管外園内研究 園行事の指導計画1・2・3 検討
- 6月 2日: 運動的活動の検討
- 8月29日: 身体表現活動の指導計画
 - 観劇会 「幼児の表現活動に繋がるものを考える」
 - ブロードウェイミュージカル「ウエストサイドストーリー」
 - 研究保育 年間1回:「研究保育」年長担任 鈴木末紗
 - ゲーム指導
- ・ 仏教行事/花まつり (4・5歳児)、両大師祭、みたままつり、地藏祭 (7回)
 - おつとめ(学年別8回)
- ・ 宝仙祭/ (R5. 10. 21 22) 在園児の活動及び母の会を含めたコロナ以前の活動再開となる
- ・ 避難訓練、防犯訓練の実施 (年間4回)、AED講習会開催 (R5. 9/4)
- ・ 公開保育・体験フェア・入園説明会/2・3年保育と満3歳関係と実施時期を分け行い
人数制限なし
- ・ 進学講演会開催/進学講演会Ⅰ (R5. 6月20日)「小学校受験に大切なこととは…」理英会
進学講演会Ⅱ (R6. 2月22日)「2023進学報告会」理英会
- ・ 母の会主催講演会/R6. 2. 26「子ども×占い」
 - 講師: 最強の占い師 ゲッターズ飯田先生
- ・ 「楽しい子ども会」実施/園児表現活動の保護者参観 (R6. 2/9・2/14～16)
 - 3・4・5歳児 3クラス合同、満3歳児は1クラス
- ・ 中央線沿線私立小学校合同説明会/幼稚園ブースは無いため資料のみ配布

<全学園>

- ・創立者忌日法要 (R5. 6. 29) 参列者：各部門の役職者(管理職以上)・代表生徒、学生園児・児童・生徒・学生はオンラインで視聴
- ・長谷寺仏教研修：(R5. 8. 24~26)
- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園 (R5. 10/21~22)
アフターコロナの人的な交流を戻し共同開催
大学 部門テーマ「前進」学内展示、音楽劇、ワークショップ
中学・高等学校共学部 部門テーマ「新しい宝仙へDASH!! あの日々を奪取!!」
演劇、作品上映、学内展示
高等学校女子部 ミュージカル、ダンス部、バトン部、合唱隊
小学校 部門テーマ「子どもの発表会、児童作品展、Enjoyほうせん」
児童作品展、ワークショップ
幼稚園 部門テーマ「宝仙祭 ~こどもの作品展~」
子どもの作品展、母の会バザー、コーラスママ

(6) 令和5年度の主な事業活動

<学園の活動>

- ① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項
 - ・教職員のためのハラスメント防止ガイドライン制定 (R5. 4/1施行)
 - ・宝仙学園非常勤職員・アルバイト就業規則改正 (R5. 4/1施行)
 - ・宝仙学園非常勤教員就業規則改正 (R5. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学学術研究活動の不正行為への対応に関する規程改正 (R5. 7/1施行)
 - ・宝仙学園出張旅費規定改正 (R5. 8/1施行)
 - ・宝仙学園高等学校授業料軽減に関する規定改正 (R5. 11/24施行)
 - ・宝仙学園電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程制定 (R6/1/1施行)
 - ・宝仙学園出張旅費規定改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園就業規則改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園給与規定改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園慶弔金及び見舞金等に関する規定改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園非常勤教員就業規則改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園非常勤職員・アルバイト就業規則改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園給与規定手当支給基準表改正 (R6/4/1施行)
 - ・宝仙学園教学組織規則改正 (R6/4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学特任教員に関する規程制定 (R6/4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学学則改正 (R7/4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程改正 (R7/4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学教職履修規程改正 (R7/4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学保育士履修規程改正 (R7/4/1施行)

② 教育環境整備の推進状況

- ・大 学 ネットワーク機器取替更新 (556万円)
 教室机・椅子取替更新 (430万円)
 教務Web出欠システム導入他 (417万円)
 学生用ノートパソコン取替更新 (261万円)
 電子ピアノ取替更新 (196万円)
 自動火災報知複合機 (107万円)

- ・中 高 2&4 号校舎 空調更新工事 (9,570 万円)
 86 型電子黒板 2 台 購入 (140 万円)
 防犯カメラシステム更新・カメラ増設工事 (720 万円)
 生徒用机 100 台・椅子 100 脚 追加購入 (310 万円)
 教員用ノート PC5 台 購入 (143 万円)

- ・小学校 音楽室電子黒板 (57万円)
 理科教育設備整備費等補助金による実験機材等の購入 (143万円)
 屋外消火栓配管漏水に伴う修繕工事 (159万円)

- ・幼稚園 園児 (年長) 用椅子 115 脚購入 (184 万円)
 2 階ウッドデッキ・手摺等塗装工事 (168 万円)

③ 学園運営管理施策の推進状況

- ・令和5年度監事への経営報告会の実施 (年3回)
- ・令和6度経営計画の部門別検討会の実施 (R6. 1/19~1/23)

